

# 画家・桜井旭（さくらい・あきら）さんによる アーティスト・イン・スクールを実施しました！

アーティスト・イン・スクール（AIS）とは、アーティストが学校に滞在しながら創作活動を行うことで、新たな経験を得ると同時に周囲との交流も生み出す事業です。北海道に先駆的な例がありますが、今回金沢市では初めて、湯涌小学校・芝原中学校を舞台に10月6日～23日の約10日間、実施しました。

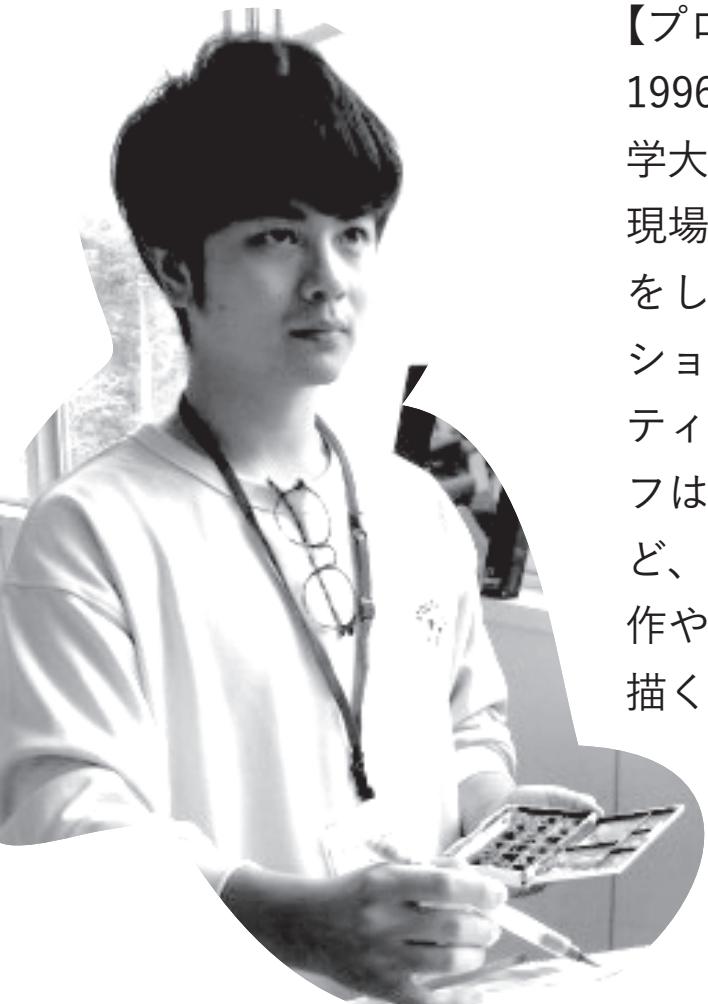
招聘したアーティストは、市内を拠点とする画家の桜井さん。「イーゼルにキャンバスを立てて見たままを写生する」というスタイルが主流の桜井さんにはこの事業がぴったりで、校内のあるゆる場所・シーンをスケッチや油絵に残しました。その作品群をこの学校公開期間に合わせて、校内に展示させていただきます。

## 【プロフィール】

1996年兵庫県明石市生まれ。金沢美術工芸大学大学院博士後期課程修了。

現場で実際にモチーフを観察しながら絵画制作をしています。制作中に生じるコミュニケーションや予測不可能な現象から、自身のリアリティーが多元化され表現が変化します。モチーフは、私の身の回りのものやよく行く喫茶店など、日常的な風景ばかりです。最近は、滞在制作や公開制作を通して、自分の知らない場所で描くことが増えてきました。

主催：(公財)金沢芸術創造財団 アーツカウンシル金沢  
コーディネート：金谷亜祐美 (NPO法人金沢アートグミ、  
アーツカウンシル金沢ディレクター)



# 桜井旭 作品 MAP in 湯涌小学校・芝原中学校

住所：金沢市湯涌荒屋町 23  
お越しの際は湯涌みどりの里（湯涌荒屋町 47）の駐車場をご利用ください

《社会の授業（5・6 年教室）》3 枚描いた油絵のうち最後に描く場所を決めた作品。少々思い切ったが、授業中の風景を背後から描けるのも湯涌小学校だけだろう、と思いチャレンジをした。スケッチでは学生たちの姿を何度も描いていたので、やはり彼らの姿が映る油絵も一枚描きたかったのだ。机も椅子も何なら黒板も毎回動いてなかなか描くのは難しかった。

《学生生活と湯涌の暮らし》何を描こうか悩みながら学内を歩き回っている時に、中学生階に足を運ぶと階の高さゆえか窓からの風景が一際美しく感じた。中でもこの美術の授業で作ったであろう石彫作品が並べられたテーブルと窓の向こうに見える湯涌の里山風景の並びには心がときめいた。ここには学生生活と湯涌の暮らしが静かに佇んでいる。

